

Def. Doc, # 2552

極東國際軍事裁判所

亞米利加合衆國其他

對

荒木 貞夫 其他

宣誓供述書

供述者

東京都澁谷區代々木西原町九一  
有 田 八 郎

明治十七年九月二十一日生

自公認我國行方式ヲ辨テ其後ハ先ヨ別紙分シテ其宣誓如爲シタル上テノ如ク  
ク 供 流 致 シ マ ス



一 私、有田八郎は一九〇九年十二月二十八日領事官補に仕せられ、爾來引續き外務省に奉職し、一九三六年四月二日廣田内閣の外務大臣に任ぜられ、一九三七年二月二日之を辭職しました。又其の後一九三八年十月乃至一九三九年八月、近衛内閣及平沼内閣の外務大臣であり、更に一九四〇年一月乃至同年七月米内内閣の外務大臣でありました。

二 廣田氏は米内内閣の時内閣參議になりましたが、其の經緯を述へると左の如くであります。

近衛第一次内閣の時に創設された内閣參議の制度は平沼内閣に於ても其の體存せられ參議其の人も其の留任となりましたが、米内内閣の成立と共に同内閣の政策と相容れざる様に見えた三、四の參議は辭表を提出するに至りました。松岡洋右氏も其の一人でありました。同氏が參議に任命されたのは主として其の外交上の知識經驗に因るものと認められたので、其の後任を物色するに當り米内首相から私に相談がありました。それで私は私が松岡氏とは外交上の所見相同しからざるものありと認めて居つた廣田氏を推薦しました。其の結果一九四〇年三月十三日廣田氏の參議就任を見るに至りました。即ち私が廣田氏を推薦しましたのは、由來同氏が健實なる外交意見の持主である事及同氏が日獨伊三國同盟に不賛成である事を私自身承知して居た爲であります。



三一九四〇年七月米内内閣が總辭職し、之に次て近衛第二次内閣が出来、内閣内閣の成立後間もなく三國同盟條約が締結されるに至つた事は周知の事實であります。

私は時々先聲廣田氏を訪問して外交上の問題に付いて意見の交換をするのを常として居たのであります。九月二十七日三國同盟條約が締結されました後の或る日私は廣田氏を訪問し種々話合ひました。其の際廣田氏は「自分（廣田）は本條約が何の必要があつて締結されたか諒解に苦しむものである。現下日本外交の最重要事は支那事變の終結を計る事である。然るに本條約締結の結果英米の日本に對する態度は極めて悪化するであろう、そうなれば支那側は此の事態を利用するであろうから支那事變の終結は愈々困難を來すであろう。又從來日本は英米と連絡を保つ事に依つて其の經濟的發展を計つて來のであるが、日本と英米との關係が前流の如き狀況となれば如何にして日本の經濟的發展を企圖する事が出來ようか、將又本條約はソ聯の對日態度に好ましからざる影響を及ぼす虞がある、本條約の締結が今後の日本の日本の國際關係に及ぼす不利なる影響は憂慮に堪えない」と申しました。又其の際廣田氏から聞いた所に依ると三國同盟條約が締結された直後内閣が前首相の參集を求め同條約の條文等に締結の次第を報告したが右報告會では主として松岡外相が



發言し、同外相は約二時間に亘り説明したそうであります。之に對し廣田氏は前記と同様の意旨で質問した處松岡外相はそれは意見の相違であると述べるのみで満足な返事をしなかつた由であります。

右會談後も私は時々廣田氏と會談する機會がありました。が就中一九四一年四月十六日私が廣田氏を往訪した際同氏は現内閣の外交は愈々危険な道を歩いて居るものと認められ殊に日米關係の將來は懸念に堪えないとつくつく慨嘆しました。

四滿洲事變以後陸軍の政治力が強くなると共に陸軍人によりよく「陸軍の總意」と云ふ言葉を聞かされたものであるが、之と同時に「推進力」と云ふ言葉が流行り出し新聞雜誌にも盛に書かれるやうになりました。

此の目に見えず、捕捉に困難な「推進力」が内治外交の關係にもを容れ、注文を付け出し、時の政府は此の「推進力」の前に殆んど無力に等しい状況でありました。苟も政治に關心を持つインテリ層は當時の事態をそう云ふ風に見たのであります。他方陸軍々人の中には政府の方針に反する行動を執る者も出て來たが政府として有效適切なる措置を取ることすら仲々容易でなかつたやうな状況でありました。

斯の如き事態に鑑み總理大臣は陸軍大内部に對し勢力を及ぼし得る現役の將軍又は有力な退職軍人を以て之に當てる事寧ろよいではないかと云



Def Doc † 2552

ふ意見を持つものが漸次増して來ました。蓋し斯くする事依り其の結果  
陸軍の行動が慎重さを加へるであらうし、又前述の様な陸軍々人の或者の  
行動に對する取締もより効果的になし得るであらうと思はれたからであり  
ます

私との度々の會談の際廣田氏も此の意見を述べました。



昭和二十二年（一九四七年）九月九日

於東京

供述者

有田八郎

右ハ當立會人ノ面前ニテ宣誓シ且ツ右名捺印シタルコトヲ證明シマス

同日於同所

立會人 守島伍郎



Def Doc #2552

良心ニ從ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ黙秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓フ

宣

誓

書

署名  
捺印

有

田

八

郎